

2020年7月21日



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

## 2020年6月 マンスリーレポート

集計企業数 55 社

## ①売上高・前年同月比

	全店			既存店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	60,462,195 万円	100.0%	105.5% (108.3%)	58,529,636 万円	104.1% (107.1%)
食 料 品	51,641,349 万円	85.4% (88.4%)	105.8% (112.2%)	50,252,491 万円	104.4% (110.6%)
農 産	7,947,937 万円	13.1% (13.9%)	110.3% (118.2%)	7,742,324 万円	108.7% (116.6%)
水 産	4,777,445 万円	7.9% (8.1%)	108.3% (111.7%)	4,653,382 万円	106.7% (109.8%)
畜 産	6,655,283 万円	11.0% (11.8%)	108.6% (118.9%)	6,474,204 万円	106.9% (117.3%)
惣 菜	5,711,379 万円	9.4% (9.3%)	101.1% (99.5%)	5,541,732 万円	99.4% (97.7%)
日配食品	11,831,519 万円	19.6% (20.3%)	105.8% (113.0%)	11,528,542 万円	104.4% (111.6%)
加工食品	14,717,786 万円	24.3% (25.0%)	103.5% (110.9%)	14,312,307 万円	102.3% (109.4%)
生活関連	3,923,232 万円	6.5% (5.9%)	110.3% (106.9%)	3,799,550 万円	109.2% (106.0%)
衣 料 品	1,678,717 万円	2.8% (1.7%)	97.7% (64.1%)	1,601,404 万円	97.9% (65.0%)
そ の 他	3,218,897 万円	5.3% (3.9%)	99.0% (73.9%)	2,876,191 万円	97.1% (73.6%)

## ② 数 値

全店総売上高	60,462,195 万円	店舗数	4,819 店舗
総売場面積	9,378,137.7 m <sup>2</sup>	総従業員数	260,447 人

店舗平均月商	12,546.6 万円	平均客単価 (前年同月比)	2,062.4円 (109.0%)
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.4 万円 (6.7万円)	平均店舗面積	1,946.1 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	21.3 万円 (22.1万円)	パート比率(前月)	76.9% (76.6%)

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 6月の天候について、気温は全国的に高く、東日本では1946年の統計開始以来6月として1位の高温となり、西日本では2005年と並び最も高温となった。雨量は北日本の日本海側と東日本の太平洋側、西日本で多かった
- ・ 生鮮物の相場状況について、野菜では、ジャガイモなどの土物や葉菜・果菜類と全般に高値推移、果実も高値推移した。水産物は、入荷量が前年に比べて減少したものの卸値は弱含みであった。ウナギは、昨年稚魚漁獲高過去最低だったが、今年は改善され価格も下がった。畜産物は和牛の相場安と豚・鶏の相場高が続いた
- ・ 前年と比べ土・日の回数が1回少なく、月・火が1回多い曜日回りであった
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策関連では、全国で学校再開が本格化し、19日からは都道府県をまたぐ移動の自粛も緩和された
- ・ 緊急事態宣言解除後に販促企画を再開する企業、一部のみを再開する企業、引き続き自粛する企業など対応が分かれた
- ・ マスクや消毒薬などの衛生用品の供給も回復し、店頭に出回った
- ・ キャッシュレス・ポイント還元事業が6月30日で終了した

## 《 商品動向 》

### ○農産

- ・ 野菜は、ジャガイモを中心とした土物や、トマトやキャベツなどサラダ野菜の主力品が、相場高に伴う販売価格の上昇により、売上げが好調となった
- ・ 梅は不作により出回りの終了が早く、前年比での売上げを落した
- ・ 国内果実では、スイカが気温高により、りんごが相場高もあり好調であった
- ・ 輸入果実ではぶどうやバナナが好調であった

### ○水産

- ・ 相場の安定したマグロを始め、刺身が前月に引き続き好調であった
- ・ ウナギは父の日などで売込み、前年に比べて非常に好調であった
- ・ 鮭、ブリなどの切身が好調であった

### ○畜産

- ・ 牛、豚、鶏、ミンチ、加工肉と引き続き好調に推移したが、前月までと比較すると伸び率は鈍化した
- ・ 豚肉は、仕入れ値が上昇したため売上げは良かったものの、利益は確保しづらかったとのコメントがみられた

### ○惣 菜

- ・ 気温の影響から冷やし中華などの麺や冷麺セット弁当が好調であった
- ・ 寿司類が週末や父の日などを中心に売り込み好調であった

### ○日配食品、加工食品

- ・ 気温の影響から麺類やアイスクリーム、乾麺、つゆ、飲料が好調であった
- ・ パスタ、粉類は品薄が一部に残りつつも、引き続き好調であった
- ・ 漬物、冷凍食品が好調であった
- ・ 米は好不調とコメントが分かれた
- ・ 家飲み需要で酒類や珍味豆菓子好調であった

### ○父の日の動向について

- ・ 外食を控える傾向にある中、焼肉やステーキ、刺身やウナギ、ステーキ重などの父の日企画弁当、ビールや洋酒などが好調であった
- ・ 父の日ギフトは中止したところがあり、実施したところも売上ダウンとのコメントがみられた

以上